大塚だより

大田区立調布大塚小学校
校長　玉野　麻衣

ICT 活用の普及と情報モラル

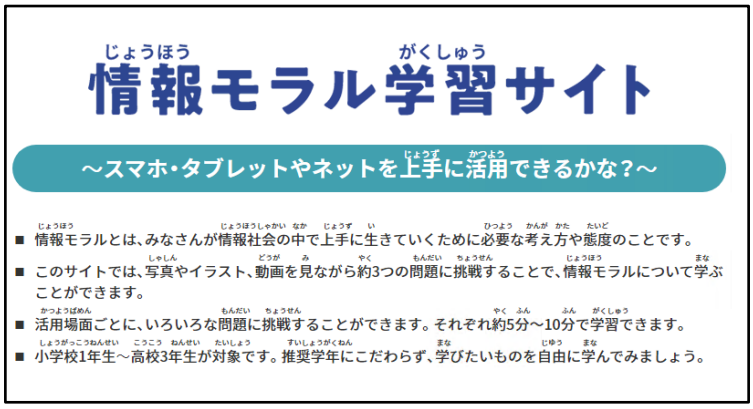
副校長 戸村 隆之

４月より本校に着任した戸村 隆之（とむら たかゆき）と申します。大田区での勤務は初めてですが、中学、高校生の時に大田区に在住していたことがありました。また、前任校の全校遠足で多摩川台公園に訪れていたり、田園調布せせらぎ公園に子供を連れて遊びに行ったりして馴染み深い地域です。調布大塚小学校の子どもたちが安心、安全に学校生活を送れるよう支えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

個人的に情報教育に関心があり、今までの学校で研究、実践など行ってきました。本校でも一人一台に端末が配付され、教職員、子どもたちが毎日のように活用する姿が見られます。学校で行うアンケートや学力調査などもオンラインで回答する形式のものが増えてきており、今後は入試などでもICTが活用されていきます。

一人一台端末の普及と同時に課題になっているのは、子どもたちの ICT の使い方です。

右の画像は、文部科学省が作っている情報モラル学習サイトです。（「文部科学省　情報モラル」で検索すると閲覧できます。）写真やイラスト、動画などを見ながら問題を解き学習していくコンテンツです。



パソコンやスマートフォンなどの普及により、このような情報モラルについてのコンテンツが非常に増えています。学校でも情報モラルについては指導していますが、ご家庭でのインターネット活用についても以下のようなことをご指導ください。

・利用の時間を決める。
・使用できるアプリを制限する。
・閲覧できるサイトを制限する。（フィルタリングサービスを使う。）

５月の生活目標

「すすんであいさつをしよう」

○　５月は、今年度最初のあいさつ運動を行います。いつでも・どこでも・誰とでも、あいさつができるような取り組み方を一人一人が考え、目標をたてて１カ月間取り組みます。

○　体を動かすと、暑く感じるようになりました。マスクによる息苦しさを感じないよう、場面に応じた使い方をお子さんと話し合ってください。

５月の保健目標

「自分のからだを知りましょう」

○　５月も健康診断はまだまだ続きます。受診のおすすめが届いたら早めに受診しましょう。

季節の変わり目です。体調管理に気を付けましょう。

○　エール・ウィーク

４月２４日（月）～４月２８日（金）の一週間、全学年でエール・ウィークに取り組みます。児童一人一人が自分のよさや友達のよさを見付け、伝え合うことで、互いのことをよく知るよい機会になります。

退職・転出職員より ご挨拶

４年間の調布大塚小学校での勤務を無事に終えました。これもひとえに多くの子供たち、保護者、そして地域の方々の励ましや支えによるものとしみじみ感じているところです。勤務というと語弊を招くかもしれませんが、私は義務的なものだけを背負いながら過ごしたわけではなく、教育公務員として日々多くの感動を得ながらいきいきと過ごし、それらを数十年続けている日記に留めることもできました。皆様方には本当に感謝のことばしかございません。本当にありがとうございました。

平成２８年春から、７年間、担任をさせていただきました。

子どもたちのいろいろなドラマを毎日見守りながら、日々変化していく様子を頼もしく感じていました。元気な子どもたち、協力的な保護者の皆様、あたたかい地域の皆様のおかげで、私自身たくさんのことを学ばせていただき、その毎日が思い出です。調布大塚小の子どもたちには、これからも素直に真っ直ぐに成長していってほしいと、心より願っています。私もこちらでの経験を生かし、頑張ってまいります。本当にお世話になり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

５年間大変お世話になりました。初めて学校司書として働く私にとって、調布大塚小学校での仕事は、とても新鮮で毎日心動かされることに出会える充実したものとなりました。保護者の皆様、地域の皆様の読書活動へのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

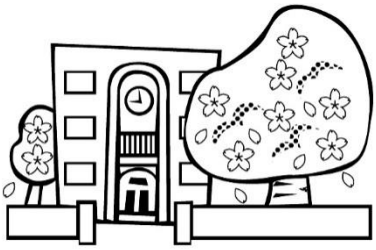
１年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。事務室を訪ねてくれる明るく元気で礼儀正しい子供たちとお話ができ、とても楽しい毎日を過ごすことができました。また、保護者の皆様、地域の皆様にもお世話になり感謝いたします。ありがとうございました。

調布大塚小では、５年間お世話になりました。

この学校は、緑が多く静かで、とても過ごしやすい環境です。

学校生活では子どもたちと触れ合う機会もあり、楽しく過ごせ、充実した日々を過ごせたことに感謝しています。

ありがとうございました。さようなら。



【スクールカウンセラーより】

スクールカウンセラー

今年度も主に月曜日に勤務します。よろしくお願いいたします。

スクールカウンセラーは、いじめ・不登校を始めとするさまざまな課題に取り組み、子どもたちがより充実した学校生活を送ることができるよう、教室を巡回したり、子どもたちとお話をしたり、保護者の方とお話をしたりしています。先生方の困りごとを聞くこともあります。『相談する』というと敷居が高く感じる方や、何をするのか不安に思う方もいるかもしれません。相談は“その子どものよりよい成長のために互いに理解を深め、整理し、方法について試行錯誤する場”であり、『まずは自分の子どもについて教える』というイメージをもっていただければと思います。保護者の皆様に教えていただきながら、解決の糸口を探すお手伝いをしたいと考えています。お気軽にご利用ください。

スクールカウンセラーの相談は全児童を対象としています。お子さんが困りごとを言葉にすることがありましたら、スクールカウンセラーの存在をお伝えください。「学校の中に相談できる先生がいる」ということが子どもたちの支えとなるよう、積極的に活動していきたいと思います。

なお、東京都の施策により、本校でも５年生に対する全員面接を行っています。今後、５年生一人一人と話をする機会を設ける予定です。